

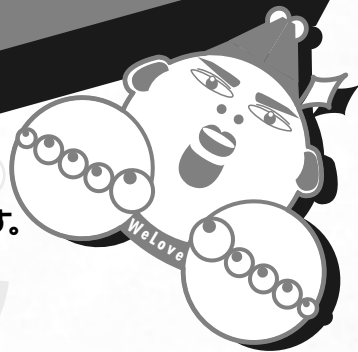
インターネットのCOOL&FOOLが大集合!



We Love Internet People

このコーナーは、
インターネットピープルの皆さんと編集部を結ぶページです。
皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。

Let's Access!



Voices From Readers

懸賞が大好きなのでインターネットでも応募しまくっていたのですが、DMの多さにウンザリ!最近控えています。

(27歳・女性の方)

なるほど。「あっ、メール来てる!」とか思ってウキウキして開いてみたら、なんてことないDMだったとき...
... 悲しくなっちゃいますよね。ところでこちらの女性、当選したことあるのでしょうか? (編)

今回初めて購入しました。まだインターネットには詳しくないので、どんな記事が読みたいのかもわかりません。とにかく、入門的な事からオタクな事まで、幅広く扱ってほしい。この本は価格も内容も大変よく気に入りました。これからも購読します。

(22歳・男性の方)

どんな記事が読みたいのかは、読みたいと思ったときにわかります(笑)。なにが不安なことがあったら、いつでも聞いてください。お待ちしております! (編)

自宅にパソコンを導入し、プロバイダーとも契約。ついにインターネットを始めました。これから自分のサイトを立ち上げようと考えています。

HTMLやシェル、CGIなどなど、ホームページに関する技術や情報の連載をお願いします!

(アンケート回答より・男性の方)

グッドタイミング! 今月号の付録小冊子では、タダで使えるホームページ素材をたくさん紹介していますので、よかったら参考にしてみてくださいね。「自分のサイト」かぁ。自慢のホームページができれば紹介させて下さいね。(編)

有名サイトの実体が知りたいです。たとえインプレスのサーバーの機種、OSから運用の苦労など。

(アンケート回答より・男性の方)

うん。確かに知りたい。えっと、ちなみにうちのサイトはですね..... うっ、わからない。今度だれかに聞いてみます(苦笑)(編)

最近、私の周りにいる年輩の女性でインターネットやEメールを始めたいという

人が多い。こういった人たちのための企画があれば薦めやすいのだが.....。

(63歳・男性の方)

そうですね。インターネットでは年輩の方にオススメのサイトがたくさんあります。ちなみに、私も実家の両親とはメールでやり取りしています。こんな関係もいいですよ。(編)

自分はインターネットを使ってビジネスをしようと思っている種類の人間なのですが、そのようなチャンスを与えて下さったり、やり方などを教えて下さったりしなければ「どうしましょう?」って感じですよー。

(24歳・女性の方)

あらあら、すでに随分とバニクってるようですね(笑)。インターネットビジネスといってもいろいろありますから、まずはしっかりとしたビジョンを立てないでですね。もちろん協力しますので、頑張ってください!! (編)

初心者向けの雑誌が多いので、ある程度の知識を持っている人でも満足できるものを.....。

(29歳・女性の方)

最近では、パソコンやインターネットの知識がある若い女性がとても増えていきますよね。こういったご意見、とっても頼もしいです!(編)

あなたの自慢のホームページを紹介し
ます。どれも作者の自信作
です。とくにご覧あれ

HOMEPAGE

見よ!

読者の自薦
ホームページ

「ラーメン掲示板」

Jump park.millto.net/~rmen/

全国のラーメン情報の掲示板です。
あなたのお気に入りのラーメン屋さんを紹介し
て下さい。全国ラーメンランキング、全国ラ
ーメンリンクあり！ ラーメン情報はここから
スタート！ (narutoさん)



「breeze」

Jump www.minc.ne.jp/~breeze/

17歳さおりのホームページです！
デジカメで撮った自分の写真や自然の写真、
毎日の日記やゲームの日記など、いろいろあ
ります 個人ページに興味のあるヒトは、遊
びに来て欲しいナァ！ (さおりさん)



「世界はその手の中に 市川大祐」

Jump www3.plala.or.jp/a-tan/

清水エスパルスの市川大祐選手を応援するペ
ージです。神奈川県在住、市川くんファンによ
るJリーグや代表の試合の観戦記など、盛り沢
山です。市川くんのファンはもちろん、エスパ
ルスファン、サッカーファンも大歓迎です。
みんなで盛りあげましょう。(あーたんさん)



「無国籍料理 じゃんぐる」

Jump www01.u-page.so-net.ne.jp/xd5/eve/

大船で人気の無国籍料理店「じゃんぐる」で
す。ユニークな名前のユニークな料理はどれも
好評で、特に「インドの嵐」と名づけられた
カレーは遠出をしても食べる価値大。料理
だけでなく、パーも充実。カクテルは150種を
数え、映画をモチーフにしたオリジナルカク
テルがおすすめ。まずはHPにアクセスしてみ
て！ きっと実際に訪れたいくなるはず。

(ガン坊さん)



「Goku Somu Wine Club」

Jump www.geocities.co.jp/EpicureanTable/1000/

ワイン好きで食べるのが大好きなメンバーが
集まって作ったホームページです。テイス
ティングノートやリーズナブルなワインの試飲
記録のほか、「香港東南アジア食事情」や「新

極める」などの各種コラムを掲載中。さら
にメルマガ配信もやってマス！！

(今井健晴さん)



編集部からのお知らせ

We Love Internet People では、皆さんから
の**お便り&自薦ホームページを大募集**して
います！インターネットにまつわるエピソード
や素朴な疑問は**もちろんのこと**、ご自慢の
ホームページの紹介も大歓迎です！
下記のページからどうぞご応募下さい。
お待ちしております！！

Jump internet.impress.co.jp/welove/

AFTER CARE

1999年11月号
特集「ついに発見!! プロバイダー選びの
方程式」(P189)
上段C1の表中でALLESNETのバックボーン
(大阪)が3Mとなっており、正しくは13Mです。

1999年11月号
NEWSWAVE (P374)
「エクセルやワードのファイルが添付
されたメールも送受信できるファックス」
(松下電器産業株式会社製)の商品名が、
「おたっくすKZ-PW55CL」となっており、
正しくは「おたっくすKX-PW55CL」
です。

1999年11月号
読者プレゼント&商品モニター大作戦!!
(P178) 4番の商品名に「ウイルスバ
スター2000」とありますが、正しくは
「ウイルスバスター2000」です。

1999年11月号
INTERNET HIT PARADE (P337)
左下の「大阪会場での公演の様子」
の写真ですが、天地が逆になってお
りました。

以上、お詫びして訂正いたします。





What a Wonderful World!



いでのぶこ

1969年大阪生まれの東京育ち。6年間プログラマーとして働いた後、世界一周の旅に出る。9月に入ってヨーロッパに突入し、約1か月の間にギリシャ、イタリア、オーストリア、ハンガリー、チェコ、ドイツ、オランダを駆け抜けた。これから少しスピードを落とし、ベルギー、フランス、スイス、スペインなどを訪問の見込み。

Jump www4.justnet.ne.jp/~nosan/

ヨーロッパ大特集

オンシーズンのヨーロッパに突入してまず打ちめされるのが「宿探し」。これまで半年アジアの国々を旅していて、予約なんかしたのは出発当日のシンガポールこっきり。どんな街でも部屋にあぶれることはなかったし、安宿が気に入らなければ多少高級なホテルに泊まっても、エアコンつきで1,000円とか2,000円とかで大した金額じゃなかったんですよ、アジアの場合。それがヨーロッパに来た途端に安宿でも一気に5倍、6倍！ベネチアに着いた日なんて、昼から3時間歩いて1万円以下の部屋がひとつも見つからない！あきらめかけて最後に電話した宿で、共同部屋に安く泊まれて助かりましたが、宿探しには毎回あまりにも手こずるので、最近では学習して事前に予約するようになりました。

ヨーロッパでは食費も高く、ビッグマックのセットが国によっては約1,000円。ローマのマクドナルドではケチャップにまでお金をとるし、ベネチアのレストランでは、8ドルのスパゲティに3ドルの席料がかかることも。そんなにか



壁画の描かれたベルリンの壁。市内を縦断していた壁も、いまはベルリン東駅付近と地下鉄の北駅付近にわずかに残るだけ。

かるとスパゲティを食べたんだか席を食べたんだかわかりません。ただしヨーロッパでも東のほうは別。最近人気のハンガリーとかチェコなどは、近年ピザもいらなくなって旅行者天国。食費は2ドル、相部屋の宿なら1泊10ドル。となりのオーストリアではコースホステルの会費が25ドルもしますが、チェコではわずか10ドル弱。会員になればどこの国のコースでも10パーセントぐらいの割引が受けられます。西欧のコースで5泊もすればすぐにモトがとれるので、会員になりたい方はぜひチェコでどうぞ。行くなら列車代もかかりますけどね。ヨーロッパはご存じの通り国際列車が数多く走り、多国間の移動も楽勝です。東南アジアあたりではずいぶん手間取った入国審査も、こころじゃ走ってる列車の中で審査官がまわり、パスポートにスタンプを押していくだけ。荷物検査すらありません。ちなみに2月から続けているこの旅もベルギーで21か国め。順調に増えていくスタンプにニヤリとしたりするこの頃ですが、ギリシャから船でイタリアに渡ったときなんかスタンプすらなく、船の出口でパスポートの表紙を見せるだけ。EUの中での移動とはいえ、そこまで簡略化されるとちょっと拍子抜けしちゃいますね。ヨーロッパに来て困ったことと言えばパソコンの電源。たいていの国では持参のアダプターセットで対応ができるのですが、チェコのプラハではちょっと変わったプラグを使っていて、私の持っている8種類のアダプターの中にもピッタリの形がありません。街の大きい電気店でアダプターを買おうにも、宿代3泊分くらいかかってしまうので、結局プラハでは日記もつけられず、ホームページも更新できず。予定を切り上げ、早めにドイツに抜けてしまいました。

さて突然ですが、オランダからベルギーへの電車の中で知り合ったアメリカ人のおじさん2人に連れられて、いまお友達のベルギー人宅に



ベネチアの街角で十字軍を見かけた。ほろ酔い加減でどこまで遠征に行くんだろ。

お邪魔しています。といっても豪華なお城やお屋敷じゃなく、狭くて古びたアパートですが、ヨーロッパの都会の風にさらされてしばらく孤独に悩まされてきた私には、彼らのあたたかい心配りがなによりのもてなしです。ところがこの国から原稿を送ろうとして壁をみたら、電源がまたチェコと同じ形じゃないですか。思いあまって明日フランスに移動しようか迷っていたら、お邪魔したおうちのおじさんはなんとお仕事で電話屋さん。仕事から電気関連の製品をたくさん持ってて、ぴったりのアダプターを出してきてくれました。おまけに電話屋さんだから、市内のアクセスポイントへの通話もタダ。先月は「車の故障にレッカー車」でしたが、渡りに船が続いています。

さてお次はどこに行きましようか。寒い冬が来る前にまずヨーロッパに来てしまいましたが、次は中東かアフリカか。でもまだしばらくは南ヨーロッパをうろついて、スペインあたりにいるかもしれません。

それでは来月、またお会いしましょう！

まくまくのメルマガ大浴場

めーるまがじん



だいよくじょう

Review

ここではまくまぐスタッフのるっちゃんに気になったメルマガをレビューします！

男の生き様

マガジンID：0000016714

男の生き様を熱く語ったメルマガです。なにを「カッコイイ」と思うかは人それぞれだと思いますが、なにかのこだわりを持っているのはいいことです。独特の価値観でこだわりすぎるほど(?)こだわった内容になっているようですが、毎回読者さんの反応も掲載されているので、受け止め方の違いがわかりやすいです。こんな考え方を「好き」か「嫌い」かというのは別にして、おもしろいなあと思いました。

おいらが棟梁!(サラリーマンが親方になってマイホーム)

マガジンID：0000016627

この発行者さんは普通のサラリーマンだそうです。自ら棟梁になって家を建てるという、ちょっと変わった視点からの貴重な情報メルマガです。このメルマガを読めば、人生の大きな買い物である「家」を建てる時の参考になるのではないのでしょうか。それにしても自分が棟梁になるなんてすごいですよね。時々「会社に勤めながら休日に家を建てる」方を取り上げたTV番組がありますが、すべてを一人で仕上げるのは大変でも、誰かに手伝ってもらいながらも自分が棟梁となることで、希望をかなえることならできるとも思えます。

子育て何人できますか?

マガジンID：0000016722

このタイトルを見るだけでも、発行者さんのしっかりした様子がかげえませんが、内容を見てみると本当にバブルで、読んでいて元気が湧いてきました。「子育ても大切だけど、子育て以外にも大切にしたいなにかがある」そんな育児ママ「すぬこ」さんが、育児・趣味・仕事などをテーマに語っています。それほど肩肘をはっているわけでもない自然な感じに好感を持ちました。

歯医者さんへいこう! 歯科恐怖症患者支援マガジン

マガジンID：0000017080

歯医者さんという、キューーンという音を思い出します。はっきり言って、歯医者さんは苦手です。恐いから。あのイスに座って口を開けると、あとはもう「どうにでもなれ」とすべてを任せてしまうしかありません。けど、どんな治療をしているのかわかれば、少しは恐怖心もやわらぐのではないのでしょうか? このメルマガは歯科関係者のチームで発行しておられるそうですが、不安な患者さんの気持ちを考えて、少しでもわかってもらおうというもの。やさしいなあ。

モテる女になる方法

マガジンID：0000017160

メルマガのサブタイトルに「男なんてイチコロよ!」と書かれているところに、ただならぬ自信を感じます。こんな前向きな積極性があれば、本当にイチコロにできるかも!? 秘訣は、まず男心を理解してガッチリとつかむことだそうです。ふむふむ。実は私もこっそり読者登録してみました。これでモテる女になれるかなあ...。なんやってると、後ろからだれかにスリッパで叩かれそうで恐いです。でも研究は大事だよな。



イラスト：松原弘実
www.netaid.or.jp/bezel/

体当たり!

毎回いろんなメルマガ作者さんへインタビューを行うコーナーです。今回のターゲットは、「今日の雑学+」の小橋昭彦さん

今回の登場人物

小：小橋昭彦さん。メルマガ「今日の雑学+」の作者。
遠：小橋さんの息子、遠太郎くん。1歳6ヶ月。
る：まくまぐスタッフのるっちゃんこと加藤み。
ふ：まくまぐウェブマスターのフッキーこと深水英一郎。

る：今日インタビューする小橋さんは、まくまぐ本部からすごく近いところに住んでらっしゃるのよね。
ふ：うむ。そうだよ。自転車で15分。
る：ほら、もう着いた!
ふ：こんにちがあー。
小：あ、どうも。
遠：きゃはあ。
ふ：あ、遠ちゃん、こんにちあ。
遠：うふうふう。
小：ちょうど遠ちゃんお昼寝から起きたとこで。
る：だから機嫌がいいのね。
ふ：しかしそれにしても、主夫やりながら日刊メルマガ出すのって大変でしょう。
小：そうでもないですよ。もう、日課みたいな

もんですから。毎日新聞読むような感覚で書いてます。
る：なるほど。でも「今日の雑学+」って、かなり内容が濃いんですよね。資料集めとかにすごく時間がかかるから大変でしょう?
小：んー、とりあえず、ウェブページは毎日500ページチェックしてますね。あと、メルマガも500誌ほどとってます。
ふ：すげえ! ヤフー!のサーファーよりウェブページ見てるかも!
小：いやいや、それほどでは。
る：創刊日っていつですか?
小：98年の1月7日です。
ふ：なんと。まくまぐ1歳の誕生日といっしょですよ。
小：で、ですね。そこから1年間かけて読者100人くらい集まればいいかなと。
る：またまたあー、ご謙遜を。
小：いや、ほんとですよ。でも1日でその読者

数は達成してしまいました。
ふ：だってねえ、登録時の説明文見てビビッときたもん。「このメルマガはいける!」って。
る：うそばかり。
遠：ぶーぶー。
ふ：そないみんなでいじめんでもええやん。
小：以来、いままで2年弱の間、新聞のニュースを起点にして、それに対して百科事典やウェブから得たネタや知識をくっつけて、いかにふくらませるかといったゲームを毎日繰り返しているわけです。
る：かっこいい!
ふ：なるほどねえー。ところで、メルマガはいつまで続けるおつもりですか?
小：そうですね、この子、遠太郎がぼくのメルマガついてくれるようになるまでかな?
る：いいですねー、それ。
ふ：遠ちゃん、ぐれなきやいれいけど。
る：なんてこというの!



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp